

平成21年度地域づくり総務大臣表彰 受賞者の概要

【大賞】

都道府県名	団体名	概要	コメント
北海道	旭川市	<p>昭和42年7月1日、「旭川の子どもたちが世界中の動物と出会える場所を作りたい」という多くの市民の熱意から旭山動物園を開園。そのような市民の願いを受け、動物を通して自然を知り、動物を通して人間を考え、動物を通して命を認識する場所でありたいとの思いから、「伝えるのは生命」を軸に、多くの方々に「命の温もり、命の尊さ」を感じてもらえる施設づくりに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今をときめく「旭山動物園」の成功も地方自治体の理解をなくしては実現不可能であったと察する。先見の明とこれからの環境問題の観点からも評価。 ・最北の地とは言え、限られた予算の中で動物を飼育し、効果・効率を上げ、地域ばかりでなく海外からも評価を得ていることは、地域の住民にとって大事な役割を持ち、官民協働の町づくりを推進している。 ・行動展示による独自性が評価できる。 ・子供のころ動物園に行って感動した。そのような動物園を地域とともに盛り上げ、育て、子供たちの感動の場を守っていることは、意義が大きい。 ・住民の熱い思いや市職員の努力により、今では全国的に有名になった旭山動物園の取組は、多くの自治体の手本になる。また、命を伝える出張授業は子どもたちに命の大切さを教えることに役立っている。

平成21年度地域づくり総務大臣表彰 受賞者の概要

【団体表彰】 20団体

都道府県名	所在地	団体名	概要	コメント
北海道	美唄市	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい	彫刻家安田侃氏と行政が協働で、閉校した小学校施設を有効活用し、周辺の豊かな自然を背景に芸術文化交流施設として建設。施設及び環境の維持・管理・保全等に努めながら、芸術文化活動の拠点としての事業や、芸術文化活動の地域連携を強化するための事業、炭鉱遺産を生かした歴史環境教育及び調査研究など様々な事業を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・かつての炭鉱町を、アートと子どもたちの声が響く美しい自然と空間へ回帰させている活動は、地元のみならず全国の支援者から支えられている点を評価。 ・新たな価値を生み出す動きであり、美唄市民だけでなく全国に応援団を作り、結び付けている点を評価。 ・アートと地域おこしの一体化がユニークである。
岩手県	宮古市	青倉地区自治会	「けげだす工房まつり」を開催(平成20年で12回目継続中)。収穫祭的祭りで、地元産品や加工品の販売、鍋の無料サービス、モチまきやイワナつかみ捕り、神楽公演など多彩な催しを行い、毎年千人以上の来訪者があり、小さな地域が大変な活気を見せている。また、味噌、豆腐などの農産加工品の生産、イベント等での販売は、昭和58年から25年間継続。アピオスやブルーベリー、雑穀などの栽培、農業体験学習の受け入れも行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「けげだす(思い出す)」という方言を生かした名称で、その名のとおり、昔懐かしい祭りを全世帯が一体となった取組には、地域コミュニティの活性化や地域の人たちの自信につながっている点を評価する。 ・自主性の高い活動実績と、自然保護に視点を広げ、祭りに独自の産業経済活動を加味される等、常に少しずつ発展が見られ、地域課題を無理なく持続的に解決させる手法の選択を評価したい。
宮城県	大崎市	特定非営利活動法人鳴子の米プロジェクト	中山間地に適した米の品種「ゆきむすび」を鳴子のシンボル米として栽培。生産者が安心して農業を続けられる所得最低ラインの生産者米価を決め5年間保証。消費者は購入により生産者を支え、差額は農業を志す若者たちの就農支援や商品開発等に使う。「多くの人の力を結び合わせて、農業と米づくりを支えていく仕組みを実現する」という目的のため、活動を展開している。	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の社会的枠組みを改善するとともに、地域の人々がともに支え合う仕組みを作り出している点を評価。収益を若者たちの就農支援に充当しているのも志が高い。 ・この短期間の動きが全国に広がっていることの成果は大きい。具体的な成果をあげている。 ・農家に米作りを推進する中で、生産者と消費者の信頼関係を結び、買い取り価格を安定させ、農家の生産意欲を高めている。また、この取組により世代間のつながりも見受けられる点や、多くの人に賛同され商品を購入されているところが評価される。
秋田県	潟上市	潟船保存会	八郎潟の岸辺に水草を再生し、湖の原風景を復元させると同時に水質浄化を図る。湖の文化伝承や水辺の再生活動における流域住民のネットワークを生み出す。作成した八郎潟流域オリジナルマップは市町村や小学校の教材となり、児童を対象とした出前授業により、水に関心を持つ子供が増加している。水性植物再生事業も行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・水性植物を再生事業として取り組むことは、いかに大切であるかを認識する上においても大事で、流域市町村と連携し地域住民と一体となって活動することに意義があり、高く評価したい。 ・八郎湖の自然学習は、環境教育の分野でも広く知られ、各小学校での全校展開の自然学習等、他に類のない熱心な地域再生活動は定着しており、そこから巣立った意識の高い二世帯市民が育ち始める等、高く評価したい。

都道府県名	所在地	団体名	概要	コメント
秋田県	藤里町	心といのちを考 える会	自殺の問題を地域全体で考え、取り組むべきととらえ、「いのちの尊さ」「地域における人のつながり」をテーマに活動。地域密着型の活動として発展させており、講演会の開催、住民が自由に交流・会話できる場の提供を行っている。自殺対策を住民の視点からとらえ、住民の交流促進による孤立防止等、地域づくりの視点で取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺者が増加する中、その防止のために立ち上がり、交流の場等を設け活動していることは意義が大きい。 ・自殺者が多いという地域の問題を直視し、自殺予防という、おそらく田舎では活動しにくいテーマに真正面から取り組んでいること。それが地域に密着したものとなって、自殺者が減少し、人と人のつながりの大切さを訴えた取組となっている。
山形県	川西町	特定非営利活 動法人きらりよ しじまネットワ ーク	地域住民の自発的な能力向上の支援活動や支え合い活動を広域的に展開するため、当該地域の全世帯が加入し、NPO法人を立ち上げた。自治部会・環境衛生部会・福祉部会・教育部会の4部会で構成され、地域住民による子育て支援、青少年の健全育成、産業振興など幅広い取組を行い、住民主体の地域づくりを推進している。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体が加入し、活動を行っている自発性、自立性を評価。これからの地域経営のモデルと思われる。 ・独自性、コミュニティビジネスの展開が評価できる。
栃木県	足利市	足利市くらしの 会	不用になった中学・高校の制服を、譲りたい人から欲しい人へ橋渡しする「制服リサイクルバンク」事業を県内で初めて立ち上げ、ゴミ減量と資源の有効利用活動に取り組んでいる。活動を通し、物を大切にする精神を市全域に広め、市民が一体となった循環型のまちづくりを進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・制服に着目し、そこからリサイクルをスタートし、制服バンクを作るなど、ユニークな活動である。 ・「もったいない」精神の醸成と循環型社会の形成。兄から弟へ、姉から妹へ「お古」を下げた昔ながらの風習を「制服リサイクル」として、スポットを当てた点が評価できる。
埼玉県	本庄市	まちの駅ネット ワーク本庄	50の「まちの駅」が共通の目標を持って町の活性化を考え、来駅者に情報を提供するとともに市民からの要望、希望を聞いて「まちの駅」活動の前進を図っている。市内の祭事、イベントに積極的に参加、協力しているほか、市が実施している諸施策のうち防犯パトロール、「赤ちゃんの駅」に参加協力している。	<ul style="list-style-type: none"> ・50の「まちの駅」を結ぶネットワークが、町の活性のみならず地域の安全網づくりに役立つ点を評価できる。 ・「まちの駅」のネットワーク形成が先駆的。地域全体に相乗効果が生まれ、賑わいに役立っているということが素晴らしい。コンビニの増加で便利になったかもしれないが、まちの個性が感じられにくくなる今日、「まちの駅」に期待したい。

都道府県名	所在地	団体名	概要	コメント
千葉県	松戸市	常盤平団地自治会	自治会、団地地区社会福祉協議会、民生委員が一体となり孤独死の防止対策に取り組んでおり、実践的な試みが成果をあげている。商店街の空き店舗を活用した住民交流の場は、住民憩いの広場となり、人々の交流、ふれあいと仲間づくりという役割を果たしており、コミュニティの再生を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の心を町のテーマとし、孤独死の課題に取り組むなど高齢化社会への対応のモデルとして意義が大きい。 ・高齢化社会における問題である孤独死に関する実践的な試みとしてコミュニティの再生を挙げている点が評価できる。 ・高齢者の孤独死を予防するための行いとして、閉鎖的になりがちな団地住民が交流を深めることにより、孤独死の減少につながっている。また、商店街の空き店舗を利用したサロンを開き、高齢者の生きがいづくりに役立っているところが評価される。
東京都	小平市	小平市グリーンロード推進協議会	玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道を貴重な観光資源として、地域と産業の活性化を図るために有効に活用することを目的として活動している。部会制で、会員自らが企画・参加することによって、より地域を知り、地元に愛着をもつことができる活動が多く、これにより、会員(市民)間のつながりが強まり、さらに活動が活発化している。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を自ら立案し、自らの努力により環境整備を行い、地域住民も認識し、他地区の模範となっている。 ・協議会の中で各部会に分かれ環境保全、文化の紹介、イベントの運営などを計画的に取り組んでいる。一過性でなく長期的に計画しているため、住民と自治体が一体となり地域活動に尽力しているところが評価される。
神奈川県	横浜市	初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会	行政や警察、大学等と一体で地域の安全・安心なまちづくりを進めるため、大学と連携した安全・安心まちづくり拠点や小規模店舗転用のモデルとして地域防犯拠点の運営、防犯パトロール、まちのルールづくりなどを行っている。また、文化芸術による地域再生事業として全国に先駆けた事例となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の違法な営業を行う小規模飲食店の建ち並ぶ地域を安全で住みやすい街に再生しようと、地域が一丸となってアートやデザインを取り入れたエリア・マネージメントで地域の課題解決に取り組んでいる点を評価。 ・まちの負のイメージを払拭すべく、文化芸術を中心としてとくんだ地域再生事業は先駆的で、同様の問題を抱える都市の範となる。また、市立大学との連携も若手アーティストの参加に効果的で、地域の資源を活用するという観点からも評価できる。
福井県	鯖江市	学生との連携によるうるしの里活性化実行委員会	京都精華大学等の学生たちが河和田地区固有のイベントである「うるしの里まつり」や「やんしき踊りのタベ」等に参加し、都会に住む若者の活力を投入し地域住民との交流を図ることで、うるしの里の活性化を図っている。このほか、学生約150人が地域の実行委員会との協働により作品を制作し、展示する「河和田アートキャンプ事業」を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水という災害から京都と河和田地区との交流が始まり、学生の力が地域に活気をもたらしており、地域間交流の新たな可能性を示していることを評価。 ・都会の若者が田舎に住み込んで、この地域でしか発想しえない創作活動に取り組み、地域活性化の糸口を見出している。高齢化した過疎地に若者の参加を促進することが各地で課題となっている中、地域外の学生と、住民の連携という先進性を評価。 ・甚大な被害を受けた後に、新たなネットワークで始まった成果が年々の参加者の増大や、地元のうるし職人等との交流等、質を深めている点を評価したい。

都道府県名	所在地	団体名	概要	コメント
岐阜県	飛騨市	種蔵を守り育む会	種蔵地区や周辺地域の住民により発足。オブザーバーに市職員、アドバイザーに移住者や体験学習の指導者を位置づけ、様々な意見を取り入れて、他のボランティア団体とも協働しながら、地域活性化イベントや景観保全作業などのまちづくり活動を進めている。また、平成21年4月に営業開始した「板倉の宿 種蔵」の運営組織と連携し、体験交流事業への協力も行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の暮らしを尊重しながら遠来の客を招き入れ、訪れた人の協力を得ながら地域の活性化を取り戻そうという取組は、高齢化率70%の過疎の村で、住民の元気づくりに効果を上げている点を評価する。 ・集落の景観保全は、都市住民との交流においても極めて重要な地域の資産である。そうした交流産業を特産品開発等に広く展開させ積極的な都市住民の定着化にまで発展させている点を評価したい。
愛知県	田原市	あかばね塾	地域づくりのリーダー養成を目的として開設。主に環境問題に取り組み、ウミガメの調査保護活動、海岸漂着物調査、海岸の清掃を兼ねたイベントを実施している。そのほかにも、外部から様々な分野で活躍中の講師を招いた講演会や討論会も実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護に積極的に取り組み事業活動をPRし、県内外からボランティアを集め、地域経済の活性化にも効果があり、全国から注目されている。 ・ウミガメ調査保護活動、海岸の環境整備・海岸線の保全を行う一方で、環境保護とは違った活動により、住民同士の交流に役立っている。また、ウミガメ・漂着物の調査結果を他団体にも提供し、活用されているところも高く評価したい。
兵庫県	神戸市	こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)	神戸を世界一ユニバーサルなまちにしていこうと発足。市民・事業者・行政が連携し、ユニバーサルデザインの普及開発に向け、イベント・市民講座の開催や市内小・中学校への出前授業、地域の出前講座への講師派遣など様々なプロジェクトを全市で展開。地域でのまちづくりや学習活動にユニバーサルデザインの視点を取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・独自性が評価できる。 ・震災を契機にユニバーサルなまちづくりをしていこうということを評価する。
高知県	高知市	特定非営利活動法人とさはちきんねっと	一般向けIT初心者講習や、500円で互いに教え学び合う講座のほか、他分野のコミュニティと連携した講座も実施し、女性の経済的自立を支援している。自分ができることを仕事に変えていく自立支援ノウハウは自治体の評価を受け、県・市が実施している母子家庭の母親自立支援事業の中でも生かされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・独自性、人材育成の点が評価できる。 ・女性の経済的自立を500円という手軽な値段で学び合える機会を提供する点を高く評価したい。

都道府県名	所在地	団体名	概要	コメント
福岡県	飯塚市	子ども夜市実行委員会	子どもたちのアイデアで商店街の中に本物のお金で売り買いする子ども店を開いている。小学校6年生から中学生までの子どもと大人とで実行委員会をつくり、企画・出店募集・運営・まとめを行っている。商店街の店主との会議や新聞各社への広報、出店者と商店街店主との出会いのコーディネート、当日に向けた会議なども実行委員の子どもたちを中心に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの自主性と自立性を育むのと同時に、心臓移植の子どもたちを支援している活動を評価。 生徒に対しお金の価値について教育されていない昨今、このような経験ができることは地域にとって効果があり、社会の一員として社会貢献につながる事業として期待したい。
福岡県	久留米市	B級グルメの聖地久留米実行委員会	継続性のある食によるまちおこし活動を念頭に置き、地元久留米のB級グルメをPRするイベントと、全国の食で地域おこしをしている団体に安くてうまくて地元の人に愛されている自慢の料理であるB級ご当地グルメを展覧してもらい、人気投票を実施してB級ご当地グルメのナンバーワンを決定するイベントを行い、食による街なかのにぎわい創出、中心市街地活性化に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体、市民主体の都市型まちづくりの動きとして情報発信も含め成果をあげている。 豊富なB級グルメストックを活用して、動員力の高いイベントを定着させている。また、これをきっかけにグルメタウンとしての知名度を上げて地域活性化に寄与している点等、貢献度は高い。
熊本県	山鹿市	山鹿温泉観光協会	山鹿市の観光振興のため、「山鹿灯籠まつり」の花火大会等、年間を通して様々なイベントやコンベンションを実施。特に観光客数が減少する冬場に観光客を呼び込むために企画した「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」は、竹や和紙を活用し、幻想的な灯りで観光客を迎えている点が好評を得ており、山鹿市のみならず、熊本県を代表する冬のイベントとなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 米米惣門ツアーや山鹿灯籠浪漫・百華百彩など工夫を凝らした企画や、学生の起業支援など多彩な活動を評価。 「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」も観賞型から参加型の工夫を重ねており、特に事業費の半分以上を自主財源で賄っていることは高く評価されると同時に、多くの地域活動へのお手本としても期待したい。
鹿児島県	志布志市	大隅の國やっちく松山藩	地域に眠る歴史を活用し、若者が独自のアレンジをして開催している「秋の陣まつり」では、約100名による武者行列を行う。会場のメインシンボルである松山城本丸や二の丸などは、1ヶ月以上かけてすべて手作り制作している。また、毎月定例企画会を開催し、「誰もが住みたくなるまちづくり」をメインテーマに掲げ、あらゆる分野について検討・協議を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> まちの活性化への熱い思いが感じられる。 町内各種団体の若者が地域おこしのため立ち上がり、イベントに限らず、あらゆる分野の検討・協議を行い活性化につなげている。若者の知恵と汗の取組や幅広い活動内容が評価される。

平成21年度地域づくり総務大臣表彰 受賞者の概要

【地方自治体表彰】4団体

都道府県名	団体名	概要	コメント
東京都	江戸川区	区立全小学校の放課後の教室・校庭・体育館などを有効に活用して、児童の健全育成のために様々な活動を行う。保護者や地域住民などの協力により、家庭や学校では学ぶことのできない体験をし、豊かな人間性を育む場、人間教育の場として実施。また、地域住民にとっても生きがいの場になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル校ではなく、全地域で地域性・個性をもったの実施は素晴らしい。継続性、発展性の面においても素晴らしい。 ・地域住民とともに運営し、「教育の世界」と「福祉の世界」の統合の試みが評価できる。 ・放課後の教室や体育館を児童や地域住民のふれあいの場として提供し活動を行う点を、地域交流の場としてのコミュニケーション伝達の安全網作りの一環として注目したい。
福井県	小浜市	平成13年9月に、全国で初めての地域振興型条例である「食のまちづくり条例」を制定し、市民や事業者の主体的な参画のもと、協働してまちづくりを進めている。「食」を育む農林水産業の振興や「食」を活かした観光の振興はもとより、森作りや海作りなど自然環境の保全、健康の増進や社会福祉の充実、食育の推進など各般の政策の充実に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファーストフードやジャンクフードのはん濫する昨今、未来を担う子どもたちの食育は大切。自治体の施策としても、ユニークな取組であることを評価。 ・官民一体となり、行政内に「食のまちづくり課」を設ける等、積極的に「いきいきまちづくり事業」の一環として行い、体系的計画的に取り組み、市民に根付いた活動は充分評価できる。 ・「食のまちづくり条例」における健康の増進や食育の推進について、「食」を中心に農林水産業の振興に取り組んでいる点を評価したい。 ・「食」を通じた様々な取組を全国に先駆け実施することにより、住民の食育に対する意識が高まっている。また、各地区で住民自身が年代・職種などの枠を超え計画した事業を実施しているところが評価される。 ・全国初の「食のまちづくり条例」を制定し、「生涯食育」という概念を提唱して積極的に取り組む姿勢は、「食」が大きな問題となっている中で先駆的で他の範となる。また、様々な施策により、市民意識が向上し、市民参加で進んでいるのがよい。 ・「食育」の面からも最近のブームの以前から御食国(みけつくに)としての役割を發揮している。まちづくりの方向性と住民の健康づくり、地場産品育成等、多面的な視点や波及効果を評価したい。
兵庫県	兵庫県	大震災の被害を受け、震災後も国内外で大規模災害が頻発するなか、国内外からの支援への感謝と同じ悲しみや苦しみを繰り返してほしくないとの思いから、震災で学んだ貴重な経験と教訓の国内外への発信や後世への継承、さらには災害被害の軽減にも積極的に取り組んできた。震災から15年を迎え、「伝える」「備える」をテーマに震災15周年事業を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・震災の経験と教訓の継承・発信を行っている点が評価できる。 ・大震災からの復興の力、さらにはそれをバネに地域住民が一体となって地域の活性化に努め、さらには被災の経験を国内外で生かしていることは、地味だが意義が大きい。 ・被災地の教訓を広く永く伝えながら、再生への道筋を様々な人的ネットワークを広げながら継続的に実践されている地域活動を評価したい。

都道府県名	団体名	概要	コメント
愛媛県	東温市	<p>環境基本計画、新エネ・バイオマス・省エネの各ビジョンを策定し、温暖化やエネルギー問題に取り組んでいる。現在、「環のまちづくり ～ロハスタウンを目指して～」を推進しており、主なプロジェクトとして、太陽エネルギーやバイオマスエネルギーなど、新エネルギーの利活用を推進するほか、「環境教育」の推進を重要な核と位置付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題が叫ばれる中、早くから温暖化やエネルギー問題に取り組み、水没危機にある国の子たちの支援金にあてているなど、その活動並びに教育の意義が大きい。 ・次世代を見据え、太陽エネルギーやバイオマスエネルギーを環境教育として位置付け取り組んでいる点を評価する。 ・グローバルな課題を地域でどう取り組むかという範例。まず、ビジョンを掲げ、新エネルギーの利活用、環境教育などシステム的に取り組んでいることが効果を上げていると思われる。成果はすぐに出るものではないが、地方自治体の理念とシステム作りが重要であることを示している。

平成21年度地域づくり総務大臣表彰 受賞者の概要

【個人表彰】3名

都道府県名	住所	団体名	概要	コメント
山形県	鶴岡市	村上 龍男	加茂水族館館長としてクラゲの繁殖・展示に取り組んでいる。クラゲの繁殖・育成や生態に関する学習会を通じて子どもたちの環境保全意識の醸造を図り、クラゲを使った商品や料理を開発し観光客の誘致に努めている。クラゲの展示を始めて以降、入館者数は増加しており、地域の観光振興にも貢献している。	<ul style="list-style-type: none"> ・資源としてのクラゲの生態の研究や環境問題といった学問的な側面ばかりでなく、観光といった分野までの幅広い活動を通じて地域の活性化に貢献されている点を評価。 ・独自性と効果が評価できる。 ・極めて珍しい「クラゲ博物館」として人気のスポットに育て上げた功績は大きく、学習会等も料理教室と結び合わせる等、重投資型ではない努力は他地域や施設の参考になっている点等、評価したい。
長野県	阿智村	渋谷 秀逸	地域・家族・仲間を愛する強い気持ちから、平成3年から約20年間にわたって「花桃」の植樹を続けている。「花桃」を活用した祭りも開催、年間約20万人もの観光客を呼び込む観光の目玉の一つとなり、村の知名度のアップ・地域の活性化に寄与している。また、冬場の景観の維持向上のため、河川敷内の整備等の環境美化活動にも取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなさかじいさん」という昔話をほうふつとさせるような事業。現代では郷土に対する人間の努力と熱意で実現できることを示していることを評価。 ・過疎地として長年の努力により、また私財を投入し花桃を植栽する等、年間20万人の観光客を呼び、町の活性化に努めたことに対し、その貢献度は大きい。 ・個人が長年にわたって花桃を植栽し続け、それが町の活性化につながっていることは意義がある。 ・一人の地道な取組が住民や仲間の共鳴を生み出し、行政をも巻き込み、地域活動へと発展した功績は大きい。結果として、知名度のアップや観光促進への寄与だけでなく、人々が地域を誇りに思うようになったこと、愛着がわいたというまでに意識を向上させたことは評価される。
愛知県	豊田市	梶 誠	過疎化の抑止と地域の活性化のため、平成10年、定住施策として都市部よりIターン者を募り農ある暮らしの実現をめざす高嶺下地区開発がスタートした。その推進のために組織された「桒快委員会」の代表として、イベントやワークショップ、定住希望者との話し合いなどを中心に、地元住民と定住者の気持ちを大切にしながら、双方の仲人役を務めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減、過疎化といった課題に直面していた地域において、都会からの定住希望者と地域の人々を結ぶとともに、炭焼き文化を子どもたちに伝承するなど努力を重ねていることを評価。環境の観点からも大切な取組である。 ・定住対策に加えて、細やかな手立てを工夫したこれまでの実績は、広く知られる程になっている。地元住民とともに歩む姿勢、相談役、相互の理解を進める努力が共感を呼んでいる。